



▲国道246号のバス専用レーン内に整備された自転車ナビライン
(提供: 持続可能な地域交通を考える会)



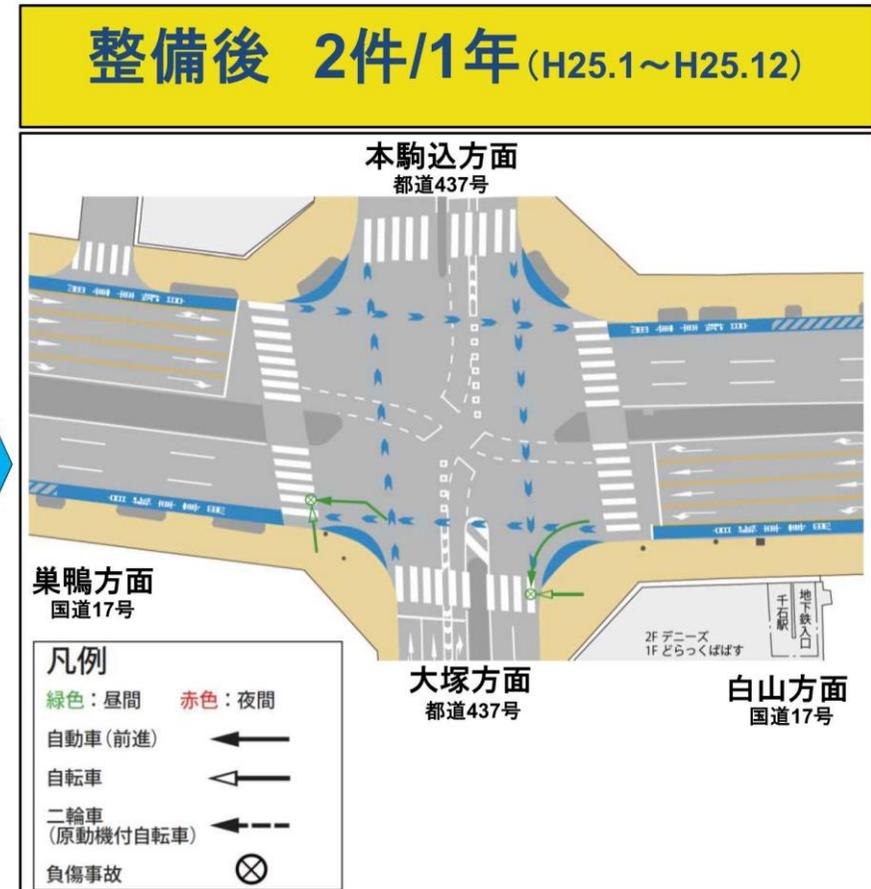
▲国道 246 号に設置された自転車ナビラインの周知看板
(提供: 高辻佑規氏)

- 整備前に比べ、整備後は交差点内における事故が減少。
- 整備前に目立った横断歩道上における事故が整備後には減少し、自転車が車道上を通行する事故も発生していない。
- ただし、整備後の事故データは1年のみであり、引き続き効果を把握する必要。

【東京都 国道17号千石一丁目交差点】 平成25年3月供用



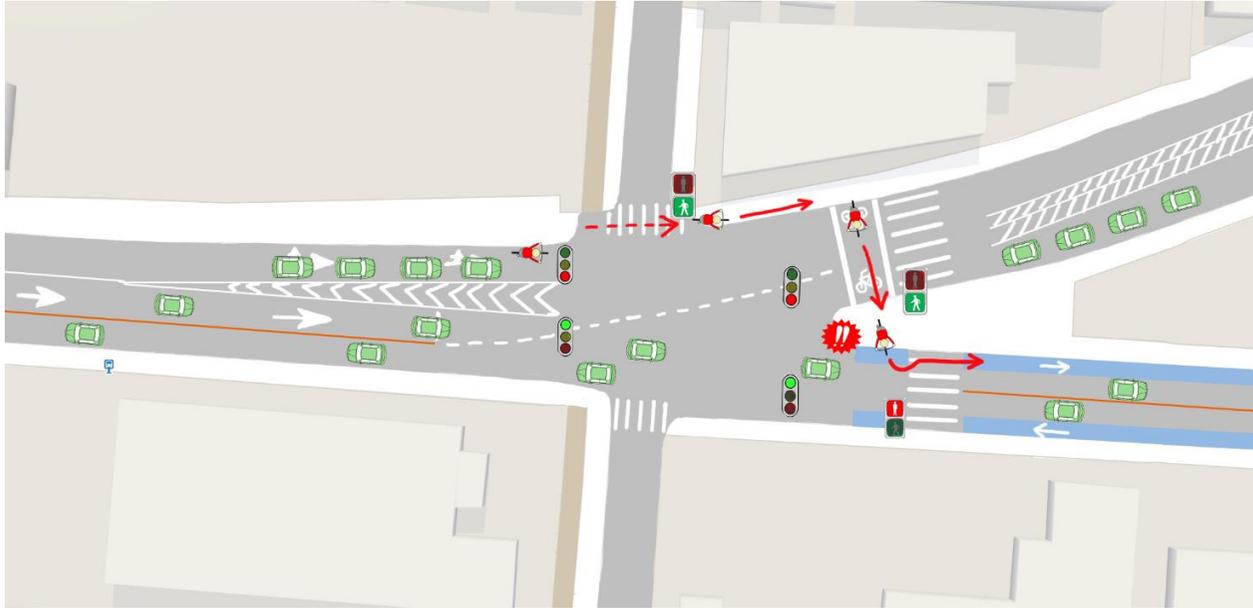
※公益財団法人 交通事故総合分析センターより



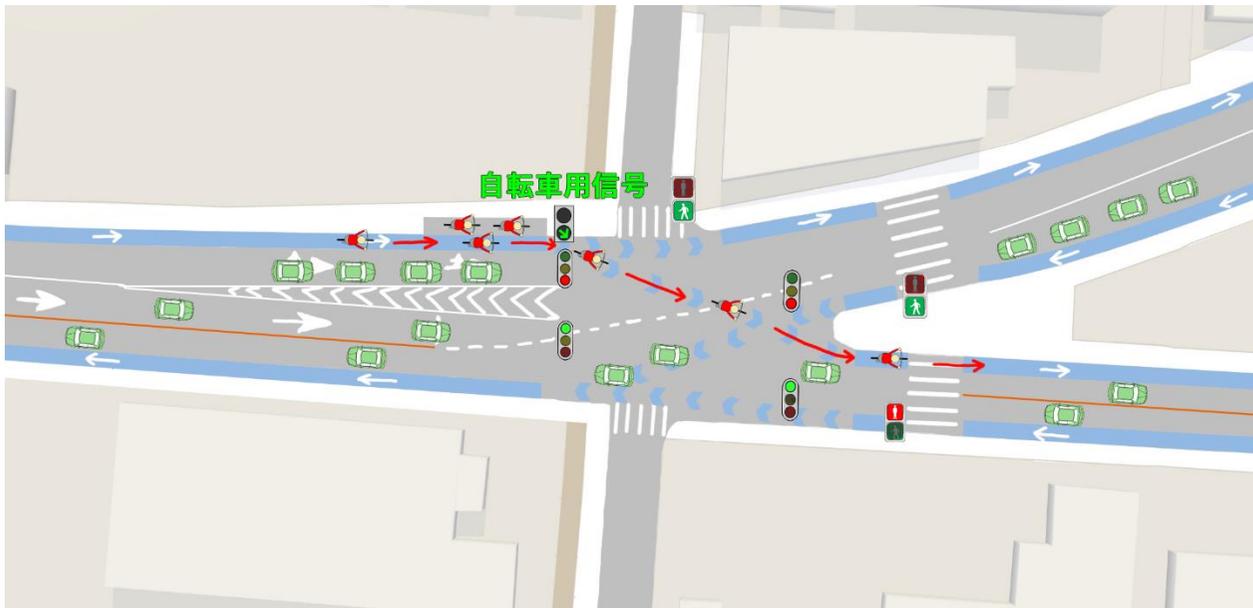
【出典：国土交通省国土技術政策総合研究所調べ】

▲出典：国土交通省「第2回 安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会」(平成 27 年2月4日開催)

資料2 「自転車ネットワーク計画の策定の促進について」



▲現状の Y 字路における自転車の通行方法(手押しを交えた二段階右折)



▲Y 字路の自転車走行空間整備の一案



▲文京区後楽の自転車通行位置を明示された自歩道

歩道のある道路



▲新曽北小学校付近の自転車歩行者道

歩道のない道路(路側帯)



▲戸田公園駅東口付近の道路

戸
田
市
の
事
例

先
進
自
治
体
の
事
例



▲川崎市幸区の自転車ナビライン(提供:持続可能な地域交通を考える会)



▲目黒区中根の自転車ナビマーク(提供:高橋大一郎氏)

